



休業再開後の レジオネラ症発生に ご注意ください

長期休業により、配管内などに
レジオネラ属菌が発生している
場合があります。



貯水槽などの遊離残留塩素濃度を確認する



全ての蛇口からフラッシング※を行い新しい水に置き換える



清掃・消毒を実施する(シャワーヘッド・ホース・カランを含む)



水質検査を実施し、問題が無いことを確認する

※フラッシング: 配管等に付着した汚れや錆などを洗い流すこと

メモ

●長期間休止により、カラン・シャワーなどをそのまま放置しておくタンクや配管内に汚れが溜まり、レジオネラ属菌やカビなどが発生することがあります。循環系を再運転する際は清掃消毒(循環系等内の水を抜き、配管内などの汚れや生物膜を取り除く)を行った上で試運転し、レジオネラ属菌検査などを実施し、水質に問題が無いことを確認してから使用しましょう。

●生物膜の除去方法としては

- ①過酸化水素消毒(専門業者に依頼し過酸化水素2~3%で処理)
- ②塩素消毒(残留塩素濃度10mg/Lで1~4時間循環)
- ③加温消毒(60度以上の高温水を循環させる)があります。

参考:

●厚生労働省「レジオネラ対策のページ」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000124204.html>

●Hospital Water Hygiene研究会(日本語)

<https://fs.lck-cloud.jp/u13673/研究会からの提言・推奨/>

●公益社団法人全国水利用設備環境衛生協会
「コロナ対策で休業再開後の「入浴施設」に注意！循環式浴槽にレジオネラ症のリスク」

<https://www.suirikyo.or.jp/information/20200511.pdf>

詳細についてはお近くの保健所へ